

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【植竹小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)「なぜ」「どうして」と疑問をもち、根拠をもとに課題解決に取り組むことのできる資質・能力 (2)相手意識をもって自分の考えを伝えることのできる資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)学習活動において、児童が興味をもてるような発問を工夫したり、根拠を基にした予想や説明、自己の考えをまとめたりできるような授業を実施していく。【各単元の中で1回以上】 (2)相手を意識しながら自分の考えを整理し、より分かりやすく伝える協働的な学びの機会を各教科だけでなく朝の会・帰りの会などに設けていく。【各単元の中で1回以上】

ざらざら(構円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	調査の振り返り(4月) 児童生徒による振り返り ①調査問題の解説 ②振り返りの終了報告
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(5月) <小1～中3>(11～12月)
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※) 児童生徒の実態把握 夏期職員研修等
↓	
学力向上策の 見直し	中間評価(9月) 課題・策の見直し

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所